

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	16H06322	研究期間	平成28(2016)年度 ～令和2(2020)年度
研究課題名	サービス産業の生産性：決定要因 と向上策	研究代表者 (所属・職)  (平成31年3月現在)	深尾 京司  (一橋大学・経済研究所・教授)

【令和元(2019)年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○ A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、日本経済において大きな位置を占めているサービス産業の生産性について、計測上の課題を解決し、生産と消費の同時性を考慮した新アプローチの適用などを通じて、包括的研究を行うことを目的としている。</p> <p>当該目的の達成に向けて、分析に必要なサービスに関するデータを包括的に収集し、それらを用いて生産性の推計を行うなど、研究の積み重ねがなされている。一方、本研究のコア(核)の部分である「産業・企業レベルの実質生産・生産性計測上の問題を最大限解決した上で、この新しい計測結果を使って生産性の決定要因を調べる」という点からの研究成果が少ない。今後は、計測上の課題の解決に力を注ぎ、その研究成果と連動させる形で生産性の決定要因についての研究を進めていくことが必要である。</p>	